Engineer

ARIA

支援技術に操作部品の名前を伝えるための追加のマークアップ

どのようなものか

ARIAは、HTMLだけでは足りない箇所で、要素の種類、名前、状態を支援技術へ伝えるHTML属性のW3C仕様です。Accessible Rich Internet Applicationsの略で、正式名のWAI-ARIAには、W3CのWeb Accessibility Initiativeを加えています。現在の勧告はバージョン1.2です。

`role` 属性は、 `button` や `tab` などの操作部品、 `list` などの構造、 `navigation` や `main` など八種類のランドマークの役割、求めなくても変化を読み上げる `status` などのライブリージョンといった種類を示します。 `aria-*` 属性は、 `aria-labelledby` のようなプロパティと、操作に従って変わる `aria-expanded` のような状態に分かれます。ブラウザーが、それらをOSのアクセシビリティAPIへ対応付け、スクリーンリーダーや音声操作が読みます。

ARIAが変えるのは、伝えられる内容だけです。 `role="button"` 付きの `div` はボタンと読まれても、 `tabindex` とスクリプトを加えるまで、フォーカスを受けず、EnterとSpaceにも反応しません。したがって、W3CのUsing ARIAは、必要な意味と動作が標準要素・属性にすでにあるなら、別の要素を転用してARIAを追加せず、それを使うことを、第一のルールとします。

```
<!-- ボタンと読み上げられるが、動作はdivのまま -->
<div role="button">送信</div>

<!-- ボタンと読み上げられ、フォーカスして操作できる -->
<button type="button">送信</button>
```

もう半分は、操作部品に対して読み上げる言葉、アクセシブルな名前です。Accessible Name and Description Computation 1.2は、優先順を定めます。最初が `aria-labelledby` 、次に `aria-label` 、標準のラベル（ `label` 要素、 `alt` 、SVG

の `title`)、内容から名前を得る役割では要素の文章、最後に `title` 属性です。そのため、 `aria-label` は見える言葉に追加するのではなく、置き換えます。

概念を判断に生かす

「ARIAとは？」を実際の判断に生かしましょう。その概念を、開発または購入するシステムに結び付けて考えるお手伝いをします。 読み込みが速く、スマートフォンでも使え、お客様がどのブラウザーを使っていても同じように動く画面を提供します。

サービスを見る お問い合わせ →

用語の背後にある前提を検証する

解説とリンク先の実績を参考に、プロジェクトについての質問を整理してください。ツールを選ぶ前に、前提を一緒に検討できます。 フルスタックのGIS地図開発を指揮 — DBからブラウザーまでのフルスタック地図開発

フルスタックのGIS地図開発を指揮 お問い合わせ →

なぜ重要なのか

ARIAがチームに問うのは、自作するか再利用するかです。WCAG 2.2の達成基準4.1.2「名前、役割及び値」は、全操作部品の名前と役割をソフトウェアへ公開し、利用者が設定できる状態と値をプログラムで設定でき、変化を通知することを求めます。標準の `button` 、 `select` 、 `details` は、そのまま満たします。独自のタブ、コンボボックス、ツリービューは、ARIAと、それを正しく保つスクリプトで初めて満たします。

独自の部品には、再設計のたびに、キーボード処理、フォーカス管理、全操作に追従する状態、複数のスクリーンリーダーでのテストという、継続的な手間がかかります。部品集は、各部品がW3CのARIA Authoring Practices Guideのどのパターンに従い、マウスを使わなくてもそのキーボード動作があるかで判断します。

法的な要求は、民間企業にも及びます。Web Accessibility Directive、(EU) 2016/2102は、公的機関のサイトとアプリを対象とします。European Accessibility Act、指令(EU) 2019/882は、2025年6月28日から、電子商取引や消費者向け銀行業務など、一定の消費者向け製品・サービスに適用されます。サービスを提供する零細企業は免除されます。どちらも整合規格EN 301 549を基礎とし、ウェブの要件はWCAGのレベルAAです。「名前、役割及び値」はレベルAなので、読み上げから名前や役割が隠れた部品は、監査の最も低い水準を満たしません。

実際の活用例

このサイトのテンプレートは、ARIAを必要な箇所に限定します。各内部ページの上部は、通常の `header` ではなく、 `role="banner"` 付きの `div` です。コメントが理由を説明しています。スタイルシートは、単独の `header` をホームの全高ヒー

ローとして扱うため、その要素を使うと全ページにその寸法が入り込みます。役割だけなら、ランドマークだけを与えます。それによって、ホームへのリンクであるブランドマークをランドマーク内に置けます。第一のルールが認める限定的な場合です。メニューは逆に、`details`と`summary`を使い、開閉状態、ボタンの意味、`aria-expanded`をブラウザーに任せます。メニューの`nav`とフッターの`nav`は、異なる`aria-label`を持ちます。同名の二つのナビゲーションは、ルールエンジンの一意性の検査に違反し、サイトの検査は指摘ゼロを必須とするためです。保存している実績絞り込みの実装には、入力されるまで静かな状態を保つよう設計した`role="status"`領域があります。この絞り込みは現在`searchEnabled = false`で無効にしています。残してある実装の例であり、公開ページで利用できる操作ではありません。

サイトをWCAG 2.2のレベルAAへ対応させた記録は、バナーの理由のもう半分を示します。ベストプラクティスのルールを有効にした途端、内部ページのブランドマークがどのランドマークにも属さず、一つが失敗しました。同じページは、実際の支援技術による検証をしていないことも、限界として公開しています。

ブラウザーが正常とした十一の不具合の記録は、マークアップと体験の隔たりを示します。十一すべてが、宣言ではなく描画結果にありました。ARIAが触れるのは宣言だけです。ポインター操作だけを無効にしたスタイルの後も、フッターの八つのリンクへTabで移動できました。読み上げからは消えても、キーボードでは残る、フォーカス可能な要素への`aria-hidden`と同じ形です。また、百五のルールのうち七十だけが有効で、ランドマーク不足を指摘するものは無効でした。

最後のページは、ARIAを使わないプラットフォームでも、同じ問題を示します。十七の画面アイコンを読み上げ向けに命名する作業はSwiftUIのアプリで、HTMLも`aria-`属性もありません。ラベルはSwiftUI自身のもので、`aria-label`に相当しますが、それ自体ではありません。システムシンボルの内部名が読まれ、送信ボタンは「上向き矢印、円、ボタン」と名乗り、十七の操作部品が機能でなく絵を説明していました。操作を示し、必要なら状態に追従するラベルを付けました。現在はリンターが、生成する構文の八行以内にラベルを求め、十八個目もそれなしでは入れません。限界は`aria-label`にも共通です。近くに何かのラベルがあることは確認できても、適切かは人が聞いて判断する必要があります。

問題が起きるところ

役割が示す部品に、キーボードが届きません。 `div`に`role="button"`とクリックハンドラーを付けると、読み上げはボタンでも、Tabは通過し、Enterは動きません。ARIA利用の第三のルールは、すべての対話的部品をキーボードで使えること

を求めます。標準要素を使うか、APGの完全なキーボードモデルを実装し、マウスを外して試します。

読み上げが存在しないと扱う場所へ、フォーカスします。 フォーカス可能な要素や、画面外のドロワーなどの祖先要素に `aria-hidden="true"` があっても、Tabは移動し、無音になります。第四のルールは禁止しています。 `hidden` 、 `display: none` 、 `inert` でタブ順序からも除き、 `aria-hidden` は、フォーカスしない装飾に使います。

名前を受け付けない要素に名前を付けます。 `div` 、 `span` 、 `p` の `aria-label` で説明しようとしても、WAI-ARIA 1.2は、 `generic` と `paragraph` の命名を禁止し、スクリーンリーダーはそれを無視するか、一貫しない読み上げをします。操作部品では、ラベルは見える言葉を置き換えます。異なれば、画面の言葉を話す音声操作は失敗します。名前を持てる要素に付け、WCAG 2.5.3「ラベルを含む名前」が求めるように、 `aria-label` の先頭を見える言葉にします。

二つの役割が矛盾します。 明示した役割は、標準の意味を置き換えます。リンクに `role="button"` を付けると、ボタンと読みながらSpaceでページをスクロールします。 `h2` の `role="tab"` は見出し一覧から外し、 `ul` の `role="navigation"` は一覧と項目数を失わせます。第二のルールは、標準の意味を変えるのは必要な場合だけとし、ARIA in HTMLは、各要素に許す役割を示します。

ライブリージョンが話し続けます。 キー入力ごと、毎秒変わる結果件数や残り時間に `aria-live="assertive"` や `role="alert"` を付けると、値が変わるたびに利用者の作業を中断させます。 `role="status"` が標準で与える、現在の読み上げに割り込まないpoliteな更新を使い、入力が落ち着いてから一度伝え、読み込み時は静かにします。

参考資料

- WAI-ARIA 1.2：すべての役割、状態、プロパティ、対応属性、命名禁止の役割です。
- ARIA in HTML：各HTML要素に許される役割・属性と、重複する指定です。
- Using ARIA：利用ルールと各例を含む、W3Cの実用ガイドです。
- Accessible Name and Description Computation 1.2：操作部品の名前を決めるアルゴリズムです。
- 「名前、役割及び値」の解説：WCAG 2.2の達成基準4.1.2が全操作部品に求めることと、技法・失敗です。

- ARIA Authoring Practices Guide：一般的な部品のマークアップとキーボード動作を、動く例とともに示します。

用語集

実際の制約に合わせて選ぶ

業務の流れ、既存のインターフェース、変更を必要とする利用者をお知らせください。検証可能な納品内容と、お客様のチームが保守を続けられる引き継ぎ内容を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

用語を実務に結び付ける

「ARIAとは？」がお客様の組織にどう当てはまるかをご相談ください。現在のシステムの具体例が一つあれば、話を始められます。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://engineer.company/ja/glossary/aria/